

久美高生の作文が新聞記事に!!

～ 2年生 授業で「環境問題」を考える ～

平成21年度の選択科目「環境科学」では、2年生（現3年生）が環境についての学習をしてきましたが、その総まとめとして、3学期に環境の作文を書きました。書いた作文は京都新聞のオピニオン・社説欄「窓 読者の声」に投稿し、多数の掲載があったので紹介します。

3/31 (水)

割り箸から環境問題を

京丹後市・田中 裕太(高校生・17)

皆さんは家や飲食店で、割り箸を使いますか？僕はあまり使わないほうです。割り箸をめぐっては、いろいろな意見がありま。使っても問題はないという学者がいる一方、使わないほうが良いという学者もいます。これはなぜでしょうか？

「問題ないと言われるのはなぜなのか？それは、割り箸は間伐材を有効利用しているから、ということのようです。それに一般の人からすると、割り箸は塗

3/12 (金)

ごみポイ捨てやめよう

京丹後市・寺田 圭吾(高校生・17)

毎日生活をしていて、必ず出てくるものといえは「ごみ」です。毎日毎日、欠かさず出る「ごみ」は、ポイ捨ての原因にもなっています。買った物をしたあとすぐに、「ごみを処理したいときがあると思います。そういうときに、ポイ捨てをしてしまうこともあると思います。私自身も、ついそう思うことがあるので、特にそう思います。でも、ポイ捨てばかりしていると、本来に街が汚れていくだけだと思います。私は周辺環境への影響を

2/24 (水)

環境問題の意識改革を

京丹後市・吉岡 佑真(高校生・17)

私は、人間の環境に対する関心は、とても低いと思います。例えば、車を運転している人が車内で缶ジュースを飲んだあと、「車に缶を転がしたくない」といって自分勝手な理由で、空き缶を車外にポイ捨てしてしまったりするものです。また、夏の海水浴場などでも、各自が持ってきた弁当やジュースなどの「ごみ」を、帰り際に持って帰るの

2/17 (水)

海辺にごみ捨てないで

宮津市・三鍋 ユミ(高校生・16)

私の家は、天橋立の近くにあり、たまに天橋立の掃除にも行っていました。いつもはきれいな見える天橋立でも、よく見ると、あめん。私たちが出した「ごみ」やガムなどの袋がたくさん落ちています。浜辺でも、ビニール袋やガラス片などがよく落ちています。夏に海水浴する人たちが、ガラス片で足を切る恐れもあり、とても危険です。悲しいことに、ごみの被害は、鳥たちにも起きています。私は、釣り糸がから

2/3 (水)

サンゴの被害なくそう

京丹後市・吉岡みちる(高校生・17)

私は、昨年1月に沖縄へ修学旅行に行き、きれいなサンゴをこの目で見る事ができました。それ以来、地球温暖化によるサンゴの被害についていろいろと考

な人間は、平気でポイ捨てをしてしまいます。この点は、人間が直していかなければならない点だと、思います。一人ひとりの「意識改革が大切」だと、強く感じ

